

110

contents

コレクション展  
第62回山口県美術展覧会  
HEART2008  
年間スケジュール

天花  
TENGE  
天花



永地秀太 「壁に倚れる女」 1925年 山口県立美術館蔵

## コレクション展

展示室A 香月泰男室

## ヌード

9/23 tue ~ 12/21 sun

## 表紙作品解説

永地秀太 「壁に倚れる女」 1925年  
油彩・カンヴァス 164.1×81.9cm 山口県立美術館蔵

縦に長い画面に描かれた、壁に寄りかかって立つ女性。視線をやや上にあげた彼女は、私たちとは目が合いません。右手を腰の後ろに、左手を前に置いて、足は軽く曲げているようです。そう、彼女はいかにも、ぼんやりと考え事をしたり、誰かを待っていたりするような姿勢をとっています。しかし私たちは、この絵を、考え事をしている女性を描いたものとは思わないでしょう。なぜなら、彼女が腰から下に布をまとっただけの、半裸の姿をしているからです。

山口県出身の洋画家の先駆的存在である永地秀太(1873-1942)は、現在の下松市に生まれ、16歳で上京、松岡寿に師事しました。太平洋画会の創立メンバーとなり、帝展の審査員もつとめています。この作品は、永地が東京高等工芸学校教授となった3年後に描いたものです。

永地がこの作品の中心に据えたのは、女性の肉体の美しさでした。彼女の肩の線の丸さ、肌の柔らかさやつやが、穏やかで安定した筆致で描かれています。うすい桜色にハイライトをつけられた肌は、内側から輝くよう。また、背後にかけられた更紗を思わせる布のにぎやかな模様も、彼女の肌と好対照をなし、そのなめらかさを一層引き立てています。胸をあらわにしながらもエロチックな雰囲気をあまり感じさせないのは、彼女がこちらを向かず「さりげない」ポーズをとっているせいでしょう。

とはいえ、実はモデルは緊張していた様子。さりげなさを装っているものの、前に出した左手は指の先がきっちりそろえられ、なんとなく力が入っているようにも見えます。

(当館学芸員 齋持あすさ)

々に



す。もへ年る

## 展示室A

小林和作室  
「松林桂月」 9/23~10/26

萩出身の水墨画家・松林桂月(1876-1963)は、江戸時代末期に類型化に陥っていた南画の伝統を復興すべく奮闘した「最後の文人画家」です。桂月の作画範囲は、華麗な花鳥画から墨一色の枯淡な山水画まで多岐にわたりました。この展示では、桂月の花鳥画・山水画の優品をご覧ください。



松林桂月 「長門峽図」1915年 山口県立美術館蔵

香月泰男室  
「ヌード」 9/23~12/21

近代以前の日本では、基本的に〈ヌード〉を美術の主題とすることがありませんでしたが、明治維新後、西洋美術から学ぼうとつとめた芸術家たちは果敢に〈ヌード〉美術に取り組みました。この展示では、明治時代の彫刻家・新海竹太郎(1868-1927)から現代の写真家・荒木経惟(1940-)にいたる、さまざまな作家による19点の作品によって、多彩な日本の〈ヌード〉美術をご紹介します。



植田正治 「砂丘ヌード」1950年 山口県立美術館蔵

郷土工芸室  
「現代の陶芸」 9/23~12/21

第二次大戦後、多様な現代美術の展開に呼応するかのよう、実用性を超えた純粋な表現活動のための陶器の制作が行われるようになり、新たな形・色彩・質感を示す作品が多く生み出されました。この展示では、未知の造形可能性に挑戦した7人の現代作家による試みの成果をご覧ください。



鯉江良二 「スパーク・スパーク・アーム」1982年 山口県立美術館蔵

鑑

対  
象  
集  
会  
講  
義広  
術

第2回山口県総合芸術文化祭

# 第62回

# 山口県美術展覧会

平成20年10月9日 木 ~ 10月26日 日

## 趣旨

### 「つくる・みる・ささえる」の創造的調和

制作の創造性を高めること(つくる)のみならず、美術作品を鑑賞すること(みる)や美術文化を支えていくこと(ささえる)もまた優れて創造的な行為であるとの意識を育成できるような、総合的な美術文化の普及と振興をはかります。

**会期** 平成20年10月9日(木)~10月26日(日)

**休館日** 10月14日(火)・20日(月)

**開館時間** 9:00~17:00(入館は16:30まで)

**観覧料** 一般:250(200)円 学生:200(150)円

※( )内は20人以上の団体料金

※70歳以上および18歳以下の方、中等教育学校、高等学校、特別支援学校に在学する方等は無料です。

**会場** 山口県立美術館

**主催** 山口県・山口県教育委員会

**お問い合わせ先**

山口県美術展覧会事務局  
山口県立美術館  
〒753-0089 山口市亀山町3-1  
tel:083-925-7788 fax:083-925-7790  
e-mail:a19304@pref.yamaguchi.lg.jp http://www.yma-web.jp/  
※郵便で問い合わせの場合は、往復はがきをご使用になるか返信用封筒を同封して下さい。

### 第62回山口県美術展覧会運営委員(50音順)

浅野 晃臣 (山口県環境生活部 文化振興課長)  
石崎 泰之 (山口県立萩美術館・浦上記念館 学芸課長)  
臼井裕貴子 (NPO法人こどもステーション山口 事務局長)  
中野 良寿 (山口大学教育学部 准教授)  
濱本 聡 (下関市立美術館 館長補佐)  
堀家 敬嗣 (山口大学教育学部 准教授)  
水谷由美子 (山口県立大学国際文化学部 教授)  
守田 正史 (山口県教育委員会 社会教育・文化財課長)  
若林 英樹 (シンフォニア岩国 企画事業マネージャー)

## 「つくる」(公募部門)

自由な意識や現代社会に根ざした作品を募集し、その優秀なものを展示します。  
9月30日(火)、10月1日(水)に行われた審査の結果、大賞・優秀賞は下記の方々に決定しました。また、入選作品は全部で168件(176点)でした。

### 大賞 范叔如(広島県) 「Landscape1~6」



#### 優秀賞

石井みつこ(岡山県)  
「イノチミジカシコイセヨオトメ/  
そのゆくさは2」

岡田隆志(山口市)  
「Part of Mine」

岡本よしろう(山口市)  
「ビーム」

実川久美子(山口市)  
「べっこん ぼっこん」

永田恭章(長門市)  
「腐った心の棘」

#### 審査員(50音順)



岡部あおみ(おかべ・あおみ)

1950年生まれ。武蔵野美術大学教授。美術評論家。2006-7年ニューヨーク大学客員研究員。阪神淡路大震災後の、シオルジュールズ阪神アートプロジェクト(1995年)の発起など、芸術と社会を結び企画を実施。現代美術、ジェンダー論、アート・マネージメントなどの著作多数。



高嶺 格(たかみね・ただす)

1969年生まれ。美術作家。パフォーマンスやインスタレーション、映像から工芸的手法まで、機会に合わせた横断的な作風で知られる。ダンスのコラボレーションや演出も手掛けるなど、舞台作品との関わりも深い。山口情報芸術センターで開催の「大友良英/ENSEMBLES」展(高嶺のパートは8月23日より10月13日まで)に参加。京都造形芸術大学客員教授。



南島 宏(みなみしま・ひろし)

1957年生まれ。女子美術大学教授。カルティエ現代美術財団(パリ)に留学(1993年)。国際美術評論家連盟理事(本部/パリ)を歴任。美術評論家連盟常任委員。プラハ国際現代美術トリエンナーレ2008(プラハ国立美術館)国際キュレーター。

### 特別展示

昨年の大賞受賞者、吉村芳生氏による新作を展示します。昨年は、色鉛筆で densely 描かれたコスモスの群生に誰もが圧倒されました。「六本木クロッシング2007:未来への脈動」展(森美術館、2007年10月13日~2008年1月14日)での展示など、国内外で高い評価を得ている氏が、今年はどうな世界を見せてくれるのでしょうか。



(参考写真:平成19年大賞受賞作)  
「徳地に住んで見えてくるもの(色鉛筆で描く...)」

## 「みる」(ワークショップ部門)

鑑賞行為の創造性を体験してもらうためのワークショップを開催します。

### 自作を語る

第62回山口県美術展覧会入選者のうち希望者に展示作品について語ってもらいます。  
詳細・実施日時は、展覧会開始後山口県立美術館ホームページおよび会場入口の掲示でお知らせします。



(昨年のおよす)

## — つくることから見ることに —

### 人間たてばんこ

大きな段ボールを切り抜いて、等身大の自分をつくろう!

10月12日(日)  
13:30~15:30

### むぎゅっと、はぎれ。

いろいろな形の段ボールのはぎれを並べてみよう。なにができるかな?

10月13日(月・祝)  
13:30~15:30

対象:こどもからおとなまで(保護者と一緒の参加であれば幼児も可)  
募集人数:15名程度(当日先着順)  
会場:山口県立美術館  
講師:倉科勇三(美術家)

### ワークショップお問い合わせ

山口県美術展覧会事務局  
山口県立美術館  
〒753-0089 山口市龜山町3-1  
tel:083-925-7788  
e-mail:a19304@pref.yamaguchi.lg.jp

## 「ささえる」(ボランティア部門)

広く県民から募集した美術館ボランティア・スタッフの県美展運営への参画により、芸術支援の活動を展開してもらいます。

### 隣のアーティスト

「これを作ったのはどんな人?」美術館ボランティアが、県美展出品作家にインタビュー。写真やインタビュー記事を館内に掲示し、作者(アーティスト)の素顔をお伝えします。

## 第2回山口県総合芸術文化祭

# HEART2008

平成20年10月9日(木)~26日(日)

主催:HEART2008実行委員会

(山口県立美術館・山口県立大学国際文化学部(文化創造学科)・  
山口市中心市街地まちづくり推進協議会・山口市商店街連合会・  
山口商工会議所・山口県・山口市)

特別協力:エフエム山口

会場:山口県立美術館 ~ 一の坂川周辺 ~ 山口商店街

HEART2008は、山口の中心市街地にある山口県立美術館と商店街を軸にして、「人々がものづくりでつながっていく街」という新しい中心市街地イメージを生み出すべく昨年から始まったイベントです。60余年の伝統を誇る山口県美術展覧会を起点に、美術と生活をダイレクトにつないでいくプログラムを継続して開催し、山口の美術作家をささえる街をつくり、人を育てることを目指します。

### 【美術館ロビー】

\*「アート・マート・スペシャル」:第50~62回の大賞・優秀賞受賞作家有志による小作品の展示・販売

### 【美術館前庭】

\*「アート・フリー・マーケット」

①10月18日(土)、19日(日)、②10月25日(土)、26日(日)

9:00~17:00

ユニークな制作活動をしている作家たちがオリジナル作品を販売。つくる人とみる人が気軽にコミュニケーションできる市場です。

### 【山口井筒屋】

\*「色鉛筆で描く花の世界 吉村芳生展」

10月8日(水)~21日(火) 10:00~19:00まで(最終日は18:00まで)

山口井筒屋5階美術ギャラリー(入場無料)

昨年度の大賞受賞作品をはじめ、作家の自宅周辺に咲く花々を色鉛筆で克明に描いた作品を展示、販売。

### 【一の坂川~商店街】

\*「吉村芳生版画展」:吉村芳生の70,80年代の版画を展示、販売。

会場① K0silver 12:00~19:00 水曜定休

会場② 純喫茶コティ 9:00~18:00 木曜定休

\*「続・ROUTE102-豆腐道路延長計画」

ディレクター:山根秀信(美術作家、第50回大賞受賞作家)

昨年に引き続き、山口銀行とみずほ銀行の間の幅1メートルの道路に、豆腐のバックで作ったブロックを敷き詰めて舗装工事(?)を行います。26日(日)には、長さ76メートルの豆腐道路が完成予定。

# 2008-2009

# schedule

山口県立美術館 平成20年度年間スケジュール

## 特別展

## コレクション展

4	4/17~5/25 いわさきちひろ展 ようこそ!ちひろの家へ
5	5/30~6/8 第31回山口県絵画展
6	6/21~7/13 コレクション展特別企画 殿敷侃 一赤と黒の記憶
7	7/30~9/21 美がまする絆
8	10/9~10/26 第2回山口県総合芸術文化祭 第62回山口県美術展覧会
9	11/11~12/21 運慶流

4/18	植木茂	松田正平	5/18 5/20	雲谷派①	
6/29 7/1				森寛斎	6/3 6/21 殿敷侃
7/1	十三代 三輪休雲	香月泰男 シベリア シリーズ		雪舟 〜大内氏が 育てた蘭画〜	7/13
9/21 9/23	現代の陶芸	ヌード		松林桂月	10/26 10/28
12/21				雲谷派②	11/24 11/26
				雲谷派③	

## 12/22-1/5 臨時休館

1	2/4~2/8 山口県立大学卒業制作展
2	2/12~2/15 山口芸術短期大学卒業制作展 2/19~2/22 山口大学卒業制作展
3	

1/6				小林和作の コレクション	動物いろいろ
4/5	金工と 赤間硯	宮崎進	2/22 2/24	雲谷派④	3/1 3/3 戦後日本写真入門

## Information

■休館日  
月曜日(月曜が祝日もしくは振替休日の場合は翌日休館)  
年末年始(12月28日~1月3日)  
展覧会撤去にともなう臨時休館(12月22日~1月5日)

■開館時間  
9:00~17:00(入館は16:30まで)

■料金  
コレクション展:一般190(160)円 学生120(100)円  
( )内は20名以上の団体料金  
特別展:別途に定めた料金  
コレクション展・特別展ともに18歳以下と70歳以上および高  
等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学する方等は無料。

山口県立美術館  
YAMAGUCHI PREFECTURAL  
ART MUSEUM  
〒753-0089  
山口市龜山町3-1  
TEL:083-925-7788  
FAX:083-925-7790  
<http://www.yma-web.jp/>

